



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい
大門小児童の育成
＜ 夢と目標をもち、
生き生きと活動する子ども ＞



共に・・・

校長 宮本 江津子

先週の金曜日に、西日本各地の梅雨明けが発表されました。平年に比べ 3 週間ほど早くなっているそうです。東日本でも、まもなく梅雨明けとなる予想ですが、急な豪雨への注意は必要ですよ。1 学期も、残り 3 週間となりました。異常な高温も続きそうなので、天候の急変や熱中症には十分気を付けながら、学校生活を送っていきます。

そんな中、先週から水泳学習が始まりました。水の中での活動とは言え、プールサイドが陽射しで熱くなりすぎてしまうことや、水中でも熱中症になる可能性もあり、暑さ指数によって、中止の判断もあります。数少ない授業時数となりますが、水の中で命を守る学習にもつながりますので、貴重な時間と捉えて指導しています。暑い中での水中ですので、子どもたちも嬉しい声をあげながら、水しぶきをあげています。水泳が得意な子も苦手な子も、何か 1 つ得ることができるといいなあと思っています。

さて、大門小には、学校の畑や花壇の整備に御協力いただいている活動があります。「ハッピーファームクラブ」と「ガーデニングクラブ」です。5 月には、畑の中に小さな田んぼを作り、その中で田植えを行いました。その際にも、地域の方から田植えの方法について教わりながら、体験しました。6 月には、4 年生とガーデニングクラブの方、保護者の方と共に、正門から昇降口・玄関までの花壇に、ニチニチソウ、ペンタス（写真にある星形の小さなお花）、マリーゴールドなどの花を 700 株ほど、植え込みました。とても暑い日でしたが、みなさんのお陰で、学校のアプローチが花いっぱいになり、とても明るく元気なお出迎えの通りとなりました。御協力いただいたみなさま、そして 4 年生のみなさん、本当にありがとうございました。その後も、暑さで枯れてしまわないようにと、水やりをしていたら・・・「校長先生、ぼくがやります。」と言ってホースを持ち、予鈴が鳴るまで手伝ってくれる 6 年生の男子がいたり、「栽培委員なので、やります。」と言って、ジョウロを持ってきて水やりをしてくれる女子がいたり、優しい気持ちや責任感が見られ、朝からとても嬉しい気持ちになりました。

学校の環境整備や学習の支援にあたるこのような活動は、本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちの力だけでは、やりきれない部分を補ってくださったり、多くの大人の目があればあるほど安全が確保できたり、支援ができたりと、みなさんお一人お一人の力が大きな力となり、支えてくださっています。子どもたちの活動に関わりをもつことで、子どもたちを共に育てていくことにつながっています。

6 月に行われた学校運営協議会では、「どんな子どもたちを育てたいか」について熟議が行われ、それらを具現化するため、スクールサポートネットワーク会議では、「日光御成道チャレンジ強歩」（6 年生が、大門宿から岩槻城まで、3 里の道のりを歩いていくチャレンジ）を通して、子どもたちにどんな力が身に付くかについてや、どんな課題があるかについて話し合ってくださいました。8 年目を迎え、学校としても課題が見えてきています。地域と共にあるこの「チャレンジ強歩」を、今後の子ども達につないでいくために、改善しながら進めていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、もうすぐ「夏休み」です。友達と遊ぶ機会も増えると思います。タブレットを使用した宿題もあります。お金を持って出かけることもあると思います。お子さんと『友達と遊ぶ時』や『情報モラル』についてよく話し合っておルールを作り、お家の方も見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。夏休みは、たくさんの時間があります。日常ではできない体験をたくさん経験できると思います。お子さんと過ごす時間をいつもよりたくさん作ってみてください。保護者の皆様、地域の皆様、1 学期間、たくさんの御協力・御支援をいただきありがとうございました。暑い夏になりそうです。皆様も、お体御自愛ください。